



## レポートのスケジュール設定

---

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [スケジュールアクション \(2 ページ\)](#)
- [レポートのスケジュールの作成 \(3 ページ\)](#)
- [夏時間とスケジュール設定されたレポート \(8 ページ\)](#)

### 概要

スケジュールをセットアップすることにより、レポートの定期的な反復生成を自動化できます。スケジュールエンティティによって、データセットの大きい複数のレポートを一度に実行し、多数のユーザへ送信して閲覧できるようにすることができます。

スケジュールエンティティにアクセスできるのは、レポート作成者およびシステム設定管理者の権限を持つユーザだけです。システム設定管理者は、どのレポートでもすべてのスケジュール関連の機能を実行できます。スケジュール設定されたすべてのレポートの、表示、編集、および実行と、レポートのスケジュール作成を行えます。レポート作成者は、自分が作成したレポート、または表示権限を持つレポートに対してのみスケジュールを作成できます。

次のようにレポートをスケジュールできます。

- あらかじめ決められた時刻に実行
- 自動的にレポートを電子メールで送信
- リモート ロケーションにレポートを保存



---

(注) スケジュールはサーバのタイムゾーンに基づいて実行されるため、[スケジュール (Schedule List)] ページでは、[次回の実行 (Next Scheduled Run)] 列にサーバのタイムゾーンが反映されます。

---

## スケジュールアクション

アクション	説明
<b>ツールバーのアクション</b>	
検索	スケジュールの検索。
すべて	すべてのスケジュール (Large、Disabled、Email、および SFTP) をリストします。
大量スケジュール	すべての大きなスケジュールをリストします。
無効	すべての無効化されたスケジュールをリストします。
E メール	電子メール配布用に設定されたすべてのスケジュールがをリストします。
SFTP	リモートロケーションに保存するように設定されたすべてのスケジュールをリストします。
更新	<b>スケジュール</b> ページを更新します。
新規	新規スケジュールを作成。詳細については、「レポートのスケジュールの作成」を参照してください。
<b>省略記号 (...) のアクション</b>	
編集	スケジュールの編集。 また、スケジューラ名をクリックしてスケジュールの詳細を編集することもできます。 編集モードでは、スケジュール名の横にあるアイコンをクリックして、スケジュールのプロパティ (名前とスケジュールの種類) を編集できます。
有効または無効	スケジュールを有効または無効にします。
削除	スケジュールを削除します。

### 関連トピック

[レポートのスケジュールの作成](#) (3 ページ)

# レポートのスケジュールの作成



(注) ライブ データ レポートはスケジュール設定できません。

## 手順

**ステップ 1** 左側のナビゲーション ウィンドウで、**スケジュール** をクリックします。

**ステップ 2** [新規 (New) ] をクリックします。

**ステップ 3** **新しいスケジュールを作成する** ダイアログボックスで、スケジュールの名前を入力し、**スケジュールタイプ** を選択します。使用可能なスケジュールの種類は次のとおりです。

### • 大量スケジュール

- システム設定管理者のユーザのみに表示されます。
- 大規模なスケジュールを使用すると、8000を超える行の大きなレポートに使用できません。

(注) 大規模スケジュールには、25000 行の上限があります。

- 大きなスケジュールは、CSV ファイル形式のみをサポートします。
- 再帰頻度が最小 1 時間の大きなスケジュールは 1 つだけ作成できます。

### • 普通スケジュール

**ステップ 4** [次へ (Next) ] をクリックします。

**ステップ 5** **レポートのスケジュール設定** タブで、スケジュールされるレポートを選択し、フィルタデータを設定し、スケジュールの詳細を設定します。

フィールド	説明
レポート	
レポート	スケジュールするレポートを選択します。
フィルタの設定	<p>このチェックボックスをオンにすると、[フィルタ基準 (Filter Criteria) ] ボタンが有効になります。[フィルタ基準 (Filter Criteria) ] ボタンをクリックして、レポートのフィルタ基準を設定します。</p> <p>レポートのフィルタを設定する方法の詳細については、「レポートフィルタ」を参照してください。</p> <p>(注) チェックを外すと、デフォルトのフィルタが使用されます。</p>

フィールド	説明
スケジュール	
開始日	<p>カレンダーアイコンをクリックして、[開始日 (Start Date)] を選択します。</p> <p>(注) 開始日には、ユーザのタイムゾーン設定が使用されます。ユーザにタイムゾーンが設定されていない場合は、レポートサーバのタイムゾーンが適用されます。</p>
終了日	<p>[終了日 (End Date)] のオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [なし (None)] : 終了日がないことを示します。</li> <li>• [期限 (By)] : カレンダーアイコンをクリックして、終了日を選択します。</li> </ul>
繰り返し	<p>スケジュール設定されたレポートの定期的なパターンを指定します。</p> <p>(注) 終了日に達したスケジュールは、24 時間の保持期間の後に消去されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [1回 (Once)] : 1回だけ実行する場合の実行時刻を指定します。</li> <li>• [毎日 (Daily)] : 何日ごとに実行するかを指定します (4 日ごとなど)。</li> <li>• [毎週 (Weekly)] : スケジュールされたレポートを実行する週数と曜日を指定します。</li> <li>• [毎月 (Monthly)] : スケジュールされたレポートを1ヵ月に一度実行する日と、それを繰り返す月数を指定します。</li> </ul> <p>(注) 月の最後の日を指定するには、[最後 (Last)] を使用します。</p>
頻度	<p>スケジュール設定した日にレポートを実行する回数を指定します。</p> <p>(注) レポートの実行スケジュールとして設定できる最大頻度は、5 分ごとです。</p>

**ステップ 6** [次へ (Next)] をクリックします。

**ステップ 7** **宛先設定** タブで、スケジュールされたレポートを電子メールで送信し、レポートの CSV 形式をリモートロケーションに保存するスケジュールを設定します。

電子メールサーバは管理コンソールで構成できます。詳細については、管理者に問い合わせるか、『Cisco Unified Intelligence Center アドミニストレーションガイド』

([https://www.cisco.com/c/ja\\_jp/support/customer-collaboration/unified-intelligence-center/products-maintenance-guides-list.html](https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/customer-collaboration/unified-intelligence-center/products-maintenance-guides-list.html))を参照してください。

フィールド	説明
電子メール	
Eメール配信	スイッチを有効にして、受信者の電子メールアドレスを入力します。 (注) [メールの配信 (Email Distribution)] フィールドに電子メールアドレスが入力されると、電子メールページの検証が実行されます。[メールの配信 (Email Distribution)] フィールドに電子メールIDが入力されていない場合、検証は実行されません。
メールビュー	メールで送信するレポートのビューを選択します。 (注) スケジュールを設定できるのはグリッドビューのみです。
メールの件名	件名のテキストを入力します。

フィールド	説明
メールのファイルタイプ	<p>ファイルタイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [インライン HTML (INLINE HTML)] : HTML 形式でレポートを送信します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 履歴レポートの上限は 8000 行です。</li> <li>• リアルタイム レポートの上限は 3000 行です。</li> </ul> </li> <li>• [XLS] : Microsoft Excel の添付ファイルとしてレポートを送信します。 <p>(注) DECIMAL データ型のカスタム形式は、Excel でエクスポートされたレポートには適用されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 履歴レポートの上限は 8000 行です。</li> <li>• リアルタイム レポートの上限は 3000 行です。</li> </ul> </li> <li>• [PDF] : レポートを横向きまたは縦向きの PDF の添付ファイルとして送信します。 <p>生成された PDF の添付ファイルには次の制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準のフォントサイズを使用します。横向きでは 10 ピクセル、縦向きでは 8 ピクセルです。PDF では、グリッドビューエディタで設定されたフォントサイズが無視され、プリンタに適したフォント出力が維持されます。 <p>(注) PDF では、HTTP 形式のイメージのみがサポートされます。</p> </li> <li>• 選択された向きのページ内に収まる行が保持されます。ページ内に収まらない列は切り捨てられます。</li> <li>• PDF の添付ファイルでは、1000 行までサポートされます。スケジュール設定されたレポートが 1000 行を超える場合には、電子メール メッセージが送信されます。</li> <li>• 列のワードラップがサポートされていません。長いテキストの場合、グリッドエディタのカラムの幅をカスタマイズして重複を避けることができます。このカスタマイズにより PDF で表示される列数が少なくなる可能性があります。</li> </ul> </li> </ul>
リモート ロケーション	

フィールド	説明
プロトコル	スイッチを有効にし、[SFTP] を選択してリモート ロケーションへのセキュア接続を確立します。
レポート ビュー	転記するレポートのビューを選択します。
ホスト	リモート ロケーションの IP アドレスを入力します。
ポート	SFTP のポート番号を入力します。デフォルト ポート番号は、22 です。
ディレクトリパス	ホスト上のパスを入力して .csv ファイルを保存します。ディレクトリパスは絶対パスでなければなりません。
ユーザ名およびパスワード	ホストのユーザ名と、対応するパスワードを入力します。パスワードの最大長は 50 文字です。
テスト接続	クリックして接続をテストします。

- (注)
- CSV タイプのスケジュール設定したレポートの日時形式は、Day\_of\_week Month Date\_of\_Month HH:MM:SS SERVER\_TIMEZONE YYYY です。例：Fri Oct 24 01:00:00 EDT 2014。
  - CSV タイプのスケジュール設定したレポートの時刻フィールドは数単位のみで表示されます。

- (注) [リモートロケーション (Remote Location) ] オプションを使用して生成されたスケジュール済みレポートは、書式設定されたレポートをサポートしていません。書式設定されたレポートを取得するには、[保存先の設定 (Destination Setting) ] として [電子メール (Email) ] を使用します。

- (注) スケジュール設定されたレポートを編集して [保存 (Save) ] をクリックすると、スケジューラが実行され、[メールの配信 (Email Distribution) ] フィールドで構成されているすべての受信者に、スケジュール設定されたレポートが電子メールで送信されます。

**ステップ 8** [保存 (Save) ] をクリックします。



- (注) スケジューラは、[レポート定義 (Report Definitions) ] の [リフレッシュレート (Refresh Rate) ] パラメータに依存します。ユーザは、[リフレッシュレート (Refresh Rate) ] パラメータを [スケジューラ頻度 (Scheduler Frequency) ] よりも低く設定できます。

#### 関連トピック

[フィルタのタイプ](#)

## レポートフィルタ

## 夏時間とスケジュール設定されたレポート

夏時間はスケジュール設定されたレポートに次のように影響を与えます。

1. 毎日特定の時間に実行するようスケジュール設定されたレポートは、時間が先に進む日にはスキップされます（夏時間に変わる場合など）。たとえば、毎日午後 10 時半に実行するようスケジュール設定されているレポートの場合は、時間が 1 時間進むと、その日の実行がスキップされます。
2. 1 回だけ実行するようスケジュール設定されたレポートが時間が進む期間に実行される場合、レポートのスケジュールは新しい時間に合わせて更新されます。たとえば、午後 10 時半に 1 回実行するようスケジュール設定されたレポートがあり、時間が 1 時間進んだ場合は、スケジュール設定されたレポートの実行時刻は午後 11 時半に更新されます。